



コロナウイルスの影響で在宅勤務をされている方、業務上在宅勤務ができない方と、どちらも大変な状態で、更なる自粛と先が見えない不安の中で日々を過ごしているかなくてはなりません。

私たち労働組合も春闘の時期にこのような状態で思うような交渉もできずにあります。

毎月行っている社前ピラティスカ配布ですが、今月は配布を中止することを決めました。

配布は行いませんが、組合ホームページ上で今月号を載せています。

今後の配布は状況を見て判断していききたいと思います。

2020年春闘回答

「コロナの影響で賃金を下げることはない」

3月5日団体交渉春闘回答

3月5日私達労働組合JMITU春闘要求の回答についてSHD・SICと団体交渉を行いました。

「コロナの影響もあり、まだ下期数字の部分がはっきり見えていないところもあり、賃上げ、夏季一時金については具体的に回答することができません。コロナの影響で先行きが不透明ですが、その影響で賃金を下げるような事はいたしません。労働者の責任でそうなったわけではないので、また組合の諸要求についても、100%満額回答ではないですが、同一労働同一賃金の部分で、一部要求に沿った回答ができそう

性別	男	女
	90%	10%

あなたの勤務先は？

SGC	40%
SIC	30%
SLS	20%
他グループ	10%

雇用形態

正社員	90%
契約社員	10%

あなたの生活実感は？

かなり苦しい	30%
やや苦しい	50%
ややゆとりがある	20%

組合春闘アンケート回答

年齢

20代	10%
30代	40%
40代	50%

賃上げ・夏季一時金要求額

賃上げは一部昨年同様、ベアスアップ一割、年収300万円以上、5万円が大多数を占めて

いました。夏季一時金は昨年同様から手取り80万円以上から100万円が大多数でした。

同一労働同一賃金について

- ・明確な説明が欲しい
- ・分からない

・開発現場では非正規の方もたくさんいるので、施行には賛成コストアップのしわ寄せ（極端な効率化やスタディ費用の削減など）が社員に来ないようにしてほしいです。

・何をもって同一労働と判断するのか、当事者と周りで意識が一致しないと思います。

・非正規と言う立場をなくし、基本全ての人が正社員にするべき

・正社員の給料を下げないで欲しい。非正規の方の給料を上げるべき、また正社員にするべき

・正社員でいるメリットを何か提示してほしい 同じ仕事をしていたても、派遣の方が給料いいならメリットなし

今職場で不安・不満に感じる事は？

・人事制度について正当に評価されていないと感じない

・人がどんどん辞めていく

・若手などの仕事量調整やフォローが手厚くなった分、管理者、リーダーの仕事量が増えた。

・通勤時間の長さ

・会社の将来性

・裁量労働分の給料減額

・勤務地を分散させて選べるようにしてほしい

・一日の実働時間の短縮

・労働環境について大崎移転や昨今の働き方改革によりかなり良くなったと感じます。

欲を言うならば福利厚生面（食堂の価格やお弁当補助など）がより良くなる事を期待したいです。

・昇給、昇進に関する不明瞭さ
裁量労働分の給料返還

・人間関係の改善

・ハラスメントをなくしてほしい

・職場環境として、パワハラや

モラハラを黙認する雰囲気がある 空気を読まないと言われる

・労働条件

引き続き春闘アンケートは行っています。回答のほうお待ちしています。

4こま漫画

川崎よしき



シヨートシヨート

新型コロナウイルス

仙洞田一彦

駅ビルの前の、人通りの絶えた広場にわたしは立っていた。見回せば、バス発着所もあるし、タクシー乗り場もある。広場の向こう側には、銀行も、証券会社も、デパートもある。封鎖とはいえ、建物の管理をする人はいる。下の階が事務所や店舗になっていて、上が住居になっているビルもある。見えないだけで、人がいないわけではない。

人が出歩いて、新型コロナウイルスの感染を広げないように、わたしは監視している。担当者、監視人なので外に立っている。警察官の手が足りないからか、狩り出されて立

っている。黄色と黒の斜めの縞模様のビニールのベストを着ている。やはり黄色と黒の縞模様のヘルメットをかぶり、マスクをし、両手には手袋をしている。手にしているのはこん棒でなく、交通整理用の先の方が赤くなっている長い懐中電灯だった。

思うし、クラスタなんて言われてもピンとこない。でも、それ以外の説明はなかった。責任者が本当に言いたかったのは、最後の「十分注意するように」ということだけだったのだろう。

ここは亡国……ではなく某国の首都の片隅の駅前だ。この国に生まれ、この国で育ち七十年を過ぎた。この国では情報が錯綜しすぎているので、いちいち自分の頭で、そもそものところから考えて、判断して行動しなければならぬ。わたしなりに、人生からそういう教訓を得ている。自分の頭で考えた結論を、邪推とか下衆の勘繰りだとか、ひがみだとか、マスコミに踊らされていかう奴がいるけれど、そんな言葉に動揺した

りしてはならない。

なぜ七十過ぎになっているのに街頭に立たされているのか。これだって理由がないわけではない。いつまでも年金で暮らしている奴らの体に、できるだけ負担をかけて、早目にあつちへ行ってもらい、年金への負担を減らそうとしているたくらみに違いはないのだ。このところ寒暖の差が激しいので、口には出さないが外に立っているのはきつい。そう思っているながら、抵抗できない自分が情けなくなるのだが。

マスクだって、すぐに、積極的に薬局に並んだ努力をしたものは手に入れている。トイレットペーパーだってそう。そういうのをテレビで見

を軽蔑の目で見ている奴らはマスクもできないし、……を拭く紙だって手に入らないのだ。いや、テレビの前で薄ら笑いをしている奴の家の押入には、マスクもトイレットペーパーも売るほどしまつてあるのかもしれない。きつとそうだ。

周りに注意、警告しなければならぬ人も見えないし、駅前のも散り始めるいい陽気だ。だからこうして何か考えていなければ、立ったまま眠ってしまいそうだ。

夏に予定していたオリンピックが、感染の広がりによって一年延びた。延期が決まった途端、なぜか感染者が増えた。もともと、あまり出歩かないわたしは、都市封鎖で狩り出されてしまった。こんなことがな

ければ、家で昼寝や読書ができたのに。

ウイルスが、オリンピックの延期発表を待っていたとは考えられない。感染が広がっていたが、オリンピックの延期発表まで、その発表を抑えていたのだろうか。あるいはオリンピック延期になったから、本当は感染が広がっていないが都市封鎖をして権力を振り回したいから、広がったと言っているのか。いずれにしても、タイミングが良すぎるような気がしてならない。

アメリカで、ヨーロッパで感染が広がっている——その報道が本当なら、同じ先進国日本で広がっていないはずがないと考えられる。とすると、感染が広がっていたが、オリンピックがどうなるか決まる

まで、報道を抑えていたというものが正解だろうか。それとも感染者が少ないのは、意図的に検査をしてこなかったからだろうか。

外出自粛要請が発表されたら、スーパーの店頭からものがなくなつた。おそらく自分の頭で考えて判断した人々はいち早く行動を起こしたに違いない。間もなく家からも出られなくなるのではないか。買い物にも出られなくなつたら大変だ。また、マスクのようにみんなが買いに出たら、手に入らなくなる。マスクがなくなっても我慢できるが、食べるものがないのはたまらない。ウイルスか、飢え死にかの選択を迫られる。何はともあれ食べるものを確保しておくことが賢明というもの。手

に入らないマスク。その二の舞は演じたくない。スーパーにもものがあるうちに手に入れて置こう。あれこれの政府の発表や報道に惑わされずに。邪推だ、下衆の勘繰りだとかの悪口に動揺しないで行動しよう。これまでも本当のことが発表、報道されずに来た。自己責任の時代だ。自分の頭でそもそもから考えて、行動に立ち上がることだ。

動くものの中かつた視界に、動きがあつた。動きは見る間に広がつた。あちらこちらの建物から人びとが出てきた。こんなにも大勢いたのかと思われるほど。みんな、足元がふらついている。顔も、普通より赤っぽく見える。なに、何が起こつたの？ わたしの体も、だるくなつてきた。